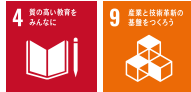


## 要請番号 (JL63024B17)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	C401 水産開発	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2025/2・2025/3・2026/1

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

農業・農村開発省

## 2) 配属機関名 (日本語)

マトラ水産専門学校

## 3) 任地 (マプト州マトラ) JICA事務所の所在地 (マプト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 1.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1960年代設立の全国唯一の水産学校であり、学生は全国から集まる。水産養殖、航海、船舶機関の3コースがあり、技術系の専門学校が少ない同国において本校への競争率は高く(約10倍)、入学は10年生(日本の高校1年生)から可能。その場合は5年間で、12年生からの入学なら3.5年でディプロマ(短大卒)を取得する。学士コースはないので、学士まで進みたい者はマプト海事大学(水産学科あり)などに進学する。約200名の学生が在籍しており、教員は約20名。2009年3月まで海外漁業協力財団(OFCF)が技術協力を行っていた。また2011年4月から2013年3月までシニア海外協力隊が派遣されていた。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

広域にわたってインド洋に面しているモザンビークは、豊富な海洋資源を有する環境にあり、同学校はモザンビークの海洋水産業に携わる人材を養成する主要機関であるが、適切な技術や知識を教授できる講師が慢性的に不足しており、今回の要請となった。基礎課程では「漁業技術コース」「機関士コース」、中級課程では「漁具・漁法コース」「小型船舶コース」「漁業経営コース」があり、2006年12月から2009年3月まで、OFCFにより機材供与、船舶の運用技術及びメンテナンス指導が行われていた。協力隊員には生徒及び職員に対する指導や研修等を通して、技術や知識の向上に加え、コース全体の質の改善も期待されている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

実習船を使った航海術、漁業実習の指導が求められる。※関係者と対話し、必要に応じ柔軟に内容を変更しながら活動する。

- 小型船舶操船法。
- 漁業技術に関する実習(建て網、延縄などの沿岸漁業全般の知識)。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

実習船、GPS、レーダー、魚群探知機、無線機、網など

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】  
校長:50代女性  
同僚教員 30代~50代

【活動対象者】  
教員、学生(14歳～18歳程度)

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

## 【資格条件等】

[免許]： ( )

[学歴]： (大卒) 備考：同僚と同等の学歴が求められる

[性別]： ( ) 備考：

[経験]： (実務経験) 5年以上 備考：指導者として活動するため

[参考情報]：

- ・小型船舶免許(必須)

### 任地での乗物利用の必要性

不要

## 【地域概況】

[気候]： (サバナ気候) 気温： (10～35℃位)

[電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (安定)

## 【特記事項】